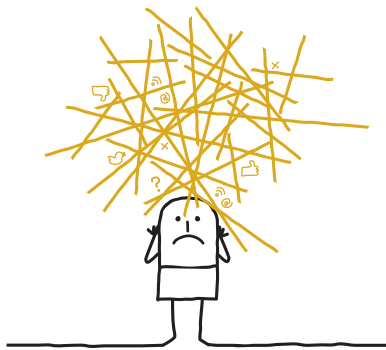


迷子になることについて

HALLUCINATIONS



なぜこうなってしまうのか？

アルツハイマー病や認知症の人に
見られる傾向:

- 薬に対する副反応。
- 薬の服用量の間違い。
- 病気による脳の変化。

アルツハイマー病や認知症の人は、存在していないものが聞こえたり、見えたり、匂いや味がしたり、感じたりすることがあります。時には、もう家に住んでいない人や亡くなった人、または架空の人物に話しかけることもあります。このような行動は、友人・家族を心配させます。

あなたにできることは？

医師の診察を受ける

- 原因解明のために病院を受診する（服用している薬を全て持って行く）。
- 幻覚症状があると感じた時は、起きたこと全てを医師に話す（記録を残す - 日付、時間、状況など）

原因を考える

- 考えられる原因を取り除く。
- 鏡に映っているのが自分であることが分からない場合は、鏡に何かを被せる。
- 暗闇から何かが出てくると言う場合は、電気をつけるか常夜灯を設置する。
- テレビやラジオが混乱を招いたり怖いと感じる場合は、そらすべてを消す。

安心させる

- 「心配しないで。一緒にいるから。あなたの面倒をみますよ」と励ます。
- 言っていることに同意し、言い返さない。彼らにとっては現実に起きていることであると理解する。
- 気を紛らわすために、何か楽しいことをさせる。



844.HELP.ALZ
AlzheimersLA.org

© 2022 Alzheimer's Los Angeles
Supported by DHHS, ACL
(#90AL0002-01-00 & 90ADPI0049)

